平成 20 年度 指定管理者施設管理評価シート 部	教育委員:
---------------------------	-------

課 会 生涯学習課 施設名 指定管理者の名称 |根岸社会教育館 ┃株式会社 山武 1. 指定管理者の概要 ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、 ①業務内容 販売、賃貸、工事の施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等 ②類似施設の (平成20年3月末現在)東京都北区滝野川体育館他14施設 管理実績 売上総利益 販売費 • 一般管理費 営業利益 「単位:百万円〕 平成16年度 10,872 63, 341 52, 468 ③経営状況 平成17年度 67,640 53, 489 14, 151 平成18年度 54, 176 17, 265 71, 441 2. 施設の概要 ①所在地 台東区根岸5-18-13 都営住宅1階 根岸図書館と併設 区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせ ②設置目的 る。ラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教養 の向上に助力する。 社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体、教育委員会や社会教育館 ③利用者 が行う事業に参加する区民、その他一般団体 火曜日~日曜日:9時~22時、月曜日:13時~22時 4開館日・ 開館時間 休館日:祝日、年末年始(12/28~1/4) ⑤規模 ホール60人 第一会議室40人 第二会議室30人 和室40人 ⑥人員体制 週40時間勤務 1人 週30時間勤務 3人 3. 事業(サービス提供)の概要 1. 区民の生涯学習・社会教育活動への施設の提供

①委託事業

- 2. 生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供
- 3. 施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談
- 4. 生涯学習ラーニングスクエアの実施

②自主事業 講座事業

4. 施設の稼動状況等

利用件数 利用人数 利用率

平成18年度 1.521件 28.390 人 42.0% 平成19年度 1,490件 27,379 人 38.1%

5. 予算決算の推移

(単位:円)

年 度		17年度	18年度	19年度	2 0 年度	2 1 年度
予算	委託料	—	14, 245, 000	13, 789, 000	14, 267, 000	
	料金収入等	—	2, 700, 000	3,000,000	2, 500, 000	
	管理経費	_	16, 945, 000	16, 789, 000	16, 767, 000	
決 算	委託料	—	14, 245, 000	13, 789, 000		
	料金収入等	—	2, 222, 415	1, 908, 045		
	管理経費		16, 365, 484	16, 233, 928		
	収 支		101, 931	-536, 883		

		期待どおりの成果で 改善が必要である。							
評価の観点	- 印圖內多	評	価	 項	目				
① 事業の運営 平均 [1.9]	的達成 水準 遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(7)自主事 (8)個人情 (9)緊急時	間等の遵守 業の成果 報保護 対応マニュアル ・防犯体制	[2] [1] [2] [2] [2]				
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守 (2)備品の管 (3)清掃・衛 (4)施設の修	生管理	[2] [2] [2] [2]	(6)管理記 (7)業務委	所等の確認 録の作成・保存 託の事前承認 ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]			
③利用者の満足度 平均 [2.0]		第三者機関の評価 望への対応と報告 の目標達成	[2] [2] [2]		やすい環境整備 体・地域との関わり	[2] [2]			
④歳入歳出 平均[1.8]	(1)適正な予 (2)経費縮減	算執行 のための取組み	[2] [2]		·画の達成 ·等の徴収・管理	[1] [2]			
7. 評価 A+ (良好):協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当):協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり):協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善):協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。									
評価の観点	評価		説		明				
①事業の運営	A-	前年度より自主事業の実施回数を増やしてはいるが、さらなる充実に 向け、内容を含めて検討していく必要がある。							
②施設の維持管理	Α	区からの申し出は、社会教育センターの所長を通して対応できている。今後は社会教育センターと連携を取って、自主的に対応できるかが課題である。							
③利用者の満足度 	Α	利用者からは、おおむね良好な評価を得ている。							
④歳入歳出	A —	歳出については適正に行われているが、歳入は事業計画上の目標に近づけるよう努力が必要である。							
⑤総合評価	A —	利用者の拡大のた 必要がある。	」めに、広幸		主事業のあり方も検訃	けしていく			

6. 評価項目 (3: 期待以上の成果が見られる。

8. 課題への対応等

引き続き、利用率拡大のための広報活動に力を入れるとともに、自主事業の充実を、社会教育センターと連携して行っていく。

また、館独自の広報活動や自主事業に対する工夫も、継続して行っていく。